

令和7年度 女子サッカー部の指導方針等について

令和7年5月2日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	福田 貴士			
副顧問	小林 直貴			
副顧問	有光 英二			

2 年間目標

- 心身を鍛えることで人格の向上を図る。
- 自己の向上だけでなく、他人の特性を理解し、他人の気持ちを考え、共に成長する。
- サッカーの技術向上を図り、チームの勝利に貢献する態度を育成する
- 選手としてだけでなく、大会の係、副審をすることにより、外部と協力できる人材となる。

3 指導方針

- 厳しさと寛容の態度を持ってチームメイトと接するようにする。
- 試合や練習の準備・練習メニューなど、可能なかぎり自分たちで考えて何事も自主的に行動させる。
- 練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2時間、休日3時間を基本とし、短時間に集中して行う。
- 競技力を高めるため練習試合を行う。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

- 日々の練習から生徒間で技術や戦術の是非を話し合うなどして、自主性を尊重した指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開する。

(2) 生徒間の暴力禁止

- 練習終了ごとにミーティングを行い、各自の意見を述べる機会を与える。
- 上級生が「人・物・場所」を大切にすることを実践し、下級生に伝え、指導する。